

※豪雨(9月2日)直後で、土石流・崩壊・埋没が登山道各地点にみられます。今後も、落石・崩壊などには注意する必要があります。

※特に、評価A・Bの登山道は、現在においては登山・ハイキングには不適です。登山道整備後の安全登山をおすすめします。

※なお、現在、鈴鹿スカイラインが通行止めです。朝明キャンプ場への県道、八風キャンプ場への町道が崩れています。

評価(一般的な登山・ハイキングの方の目安として、危険度を4段階で評価しました。)

	色の区分	評価の目安
A(危険)	赤色	崩壊・流失により通過不可能地点あり。
B(やや危険、登山不適)	黄色	歩行(通過)に、危険である。落石・崩壊の危険あり。
C(登山可能)	青色	注意すれば歩行可能。土砂(石)による埋没はあり。
D(元の登山道)	緑色	豪雨前の登山道と同じ。

	登山道(登山コース)	評価	登山道の状態
藤原岳	大貝戸道(大貝戸～8合目)	D	
	聖宝寺道(聖宝寺～8合目)	C	3合目から下部崩壊、迂回あり。
	8合目～頂上山荘	C	土石流あり(登山は可能であるが)
宇賀溪方面	キャンプ場～五階滝～長尾滝	B	吊橋の基部が流失で危険。崩壊・流失有り。
	旧道(白竜神社～小峠)	B	崩壊、流失あり。
	長尾滝～小峠	C	崩壊あり
	小峠～石樽峠	C	崩壊あり
	竜ヶ岳 ホタガ谷道	C	崩壊、堆積あり
	朝明溪谷方面	根の平峠道(伊勢谷)	B
	ブナ清水(根の平～ブナ清水)	C	
	中峠道(分岐～曙滝～中峠)	A	崩壊、埋没あり
	羽鳥峰道(猫谷・旧道)	B	迂回必要、埋没あり
	羽鳥峰道(林道)	C	埋没あり、落石危険
釈迦ヶ岳	松尾尾根コース	D	
	庵座谷コース	B	埋没、崩壊あり。落石危険。
	水無コース	D	谷沿いの登山道問題なし
県境稜線	根の平峠～羽鳥峰峠	C	崩壊あり(迂回可)
	羽鳥峰～釈迦分岐	D	
	釈迦分岐～八風峠	D	
八風溪谷	射撃場～峠分岐	A	崩壊、埋没あり
	峠分岐～八風峠	C	
	峠分岐～八風中峠	未調査	
ハライド周辺	腰越谷道(朝明～腰越峠)	A	崩壊、埋没、落石危険
	南コブ尾根	C	踏み跡程度の部分あり
	東海自然歩道(風越峠～朝明)	A	崩壊あり
愛知川流域	白滝谷道(分岐～愛知川出合)	C	倒木あり
	ヒロ沢道(羽鳥峰～ヒロ沢出合)	D	
	下水晶谷道(中峠～愛知川大瀬)	C	埋没あり
	タケ谷道(根の平峠～愛知川)	C	不明瞭地点あり
	根の平峠～上水晶谷～コクイ谷出合	D	
	コクイ谷分岐～杉峠	C	
	愛知川本流沿い登山道	D	
	お金谷コース	C	一般コースではない
下谷尻谷コース	C	一般コースではない	
	オゾ谷コース	C	一般コースではない
	上水晶谷出合～国見峠	C	崩壊あり(迂回可能)
雨乞岳	杉峠～雨乞岳～東雨乞	D	
	南雨乞～イハイガ～綿向山	D	
御在所・国見	藤内～岳不動～国見尾根	A	
	御在所裏道	B	仮復旧したが危険性あり
	御在所中道	C	
	御在所表道	D	
	御在所一の谷新道	D	
県境稜線	根の平峠～国見峠	D	
	国見峠～武平峠	D	
鎌ヶ岳	長石谷	C	入り口の橋が流失
	三つ口谷	B	崩壊部分あるが修理あり
	カズラ谷道	D	
県境稜線	武平峠～鎌ヶ岳	C	
その他	鎌ヶ岳～白ハゲ～雲母峰	D	